

トウホクノウサギ

Lepus brachyurus angustidens

種名



分類	哺乳綱兔形目ウサギ科 touhoku hare ; etigo hare
俗称	トウホクノウサギ
形態的な特徴	頭胴長約 49cm、耳長約 8 cm、肢長約 15 cm、尾長約 3 cm。夏毛の背面は暗茶褐色、体下面はほとんど白色。冬毛は耳の先端の黒褐色を除いて全身が白色。しかし、ナベウサギと呼ばれ、冬に完全に白化しないものが一部の地方に若干いる。
分布	本州の山岳地帯や積雪の多い日本海に面した地方に分布。
繁殖行動	妊娠期間は約 43 日で、1 産 1～5 子(平均 2 子弱)で。年 3 回まで無積雪期に繁殖。体色の変化は日照時間の長短によりおこる。
生息場所	山地や平野部のやぶの多いところに生息する。ふつうは単独生活をし、群れをつくることはない。
食性	夏は草類の茎葉を主食とし、冬は若い造林木、果樹、雑木などの小枝や皮を食べる。
生息環境への配慮事項	

引用文献:改訂新版 世界文化生物大図鑑 動物を改変